



## 株式会社 Re-birth

就職活動において、今最も注目されているのが、職場での就業体験を行う「インターンシップ」です。近年、長期休暇を有効的に使うため、ほぼ全ての大学生が経験すると言われています。今回は滋賀県の企業と求職者をつなぐ、インターンシップ支援会社「Re-birth」を訪ね、働く女性の未来やこれからの学生の働き方について代表取締役の竹林竜一さんにお話を聞きました。

### 次世代を担う若者の架け橋となる

株式会社Re-birthは、滋賀県を主にインターンシップ事業を行う、設立3年目の若い会社です。

事業の柱の1つとして、滋賀県からの委託で「滋賀インターンシップ推進協議会」運営を行っており、県内企業へのインターンシップの導入を働きかけています。

最近は事実上の求人・求職活動とほとんど変わらない「ワンデーインターンシップ」が急激に流行していますが、同社は「長期実践型インターンシップ」にこだわっています。「経営者と学生の双方が、自分の可能性ややりたい事、夢に対して蓋をするのではなく、個々の可能性を一緒になって広げていく取り組みを行います」(同社FBページより)。

竹林さんは「『夢の貧困』をなくしたい」と話します。「やったことないから、できないから、を理由に夢を諦めてほしくない」。

自宅でもサーバーアクセス可能なシステムを導入するなど、家の用事で緊急の際に出勤しなくても仕事ができる状況を作っているそうです。このシステムについても、プライベートに縛りのない必要最低限の活用としています。「女性」を1つの枠組みとして捉えるのではな

く、個々人の状況に合わせたスタイルで働くことを大切にしている、職場での女性の多さについても、働く効率の良さ・価値観の柔軟性を重要視したものだと言っていました。

Re-birthのインターンシップでは、学生だけではなく主婦や障がい者の社会への歩みを後押しするものにまでインターンシップの幅を広げています。その発想は「夢の貧困を無くす」という経営理念に立ち返り、働こうとする全ての人の味方となり、夢を応援していきます。竹林さんは、「いつかこの会社がなくなるときが、この社会から夢の貧困が無くなる時。一日でも早くそういうときが来てほしい」といいます。



代表取締役 竹林竜一さん

#### ひとこと

どうか若い年代の人は挑戦することを止めてほしくないです。社会に出たとき、失敗や挫折をしない人生なんて絶対に有りません。だからこそ、多くの経験をして「自分なりの経験を見つけてほしい」と思います。自己肯定感を持って、踏み出せない一歩を踏み出してみてください。

会社名：株式会社 Re-birth  
業 種：インターンシップ支援他  
創 業：2015年4月  
従業員数：2名  
本 社：滋賀県草津市野路1丁目  
4-16 MNK-3ビル 502号室  
<http://www.shiga-rebirth.com>

#### 学生の目

私も、来年にはインターンシップに参加しようと考えています。自分の興味や関心に関わらずあらゆる企業に目を向けて、インターンシップという機会を思い切り活用し、自分の中の可能性を見つけ出したいと思いました。  
(龍谷大学法学部 法律学科 2年生 高橋来奈)

